



ふくちやまし

議会だより

No.30

平成12年2月1日
発行 福知山市議会

編集
福知山市議会だより編集委員会
福知山市字内記13の1
☎0773(22)6111



昔ながらのガッチャンポン(腕用ポンプ)による放水も披露された [12年1月9日 消防出初式一広小路で]

12月定例市議会の概要

平成11年第8回目の議会となった12月定例会は、2日から22日までの21日間にわたって開かれた。この定例会では「平成11年度一般会計補正予算」など25議案を審議し、いずれも原案どおり可決した。また9月定例会で継続審査とし11月1・2・4・5日の4日間、決算審査特別委員会で審査した平成10年度決算2議案を認定した。

請願は5件が提出され1件を採択、「道路整備予算の確保に関する意見書」と「米の豊作時における主食用以外に処理する場合の政府助成増額を求める意見書」を可決、関係機関に送付した。

◆補正予算

一般会計で4億3、108万円を追加、特別会計で858万円、企業会計で7、228万1千円をそれぞれ減額補正し、補正後の全会計の総額を622億3、348万3千円とした。

主な内容

- 職員の給与改定等に伴う人件費
減額1億4、632万円
- 少子化対策臨時特例交付金基金積立
1億8、853万円

◆生活保護費の増

5、103万円

- 9月災害(農林・土木等)復旧事業
1億3、135万円

◆条例

少子化対策臨時特例交付金を基金として積立てる条例の新設など。

◆その他議案

伝染病予防法の廃止により中丹伝染病隔離病舎組合を解散し、その財産を福知山市のものとすることを決定。

◆人事議案

人権擁護委員の候補者として福井満夫氏(牧・75歳・再任)の推せんに同意した。

◆一般質問

一人でも多くの議員が、活発で分かりやすい論戦を展開するため、従来、全員が一人1時間(回数3回まで)であった質問時間を、会派代表以外の質問者は30分に変更、これまでより3〜4人多い16人の議員が質問を行った。

一般質問

(12月定例会)

自民クラブ

立道 正規 有 幸男
永田 時夫 和田 久

市民アンケート結果から みたまちづくり事業

問 二十一世紀のまちづくり事業の優先順位は。

答 大型事業については、しいて順番をつけるとなると①市民病院の全面改築②リサイクルプラザ③文化芸術会館としたい。

北部簡水と合併処理浄化槽の整備

問 北部4簡易水道(川口・三岳・北陵・長尾)の統合計画が進められているが、非常に公共性が高い事業であり、今後どのように進めていくのか。

答 4つの地域を結び、一本の簡易水道にすることで、水がよく供給できることになる。今の制度を利用すれば補助金が40%程度付き、条件が良く整備出来ると考えている。地元のみならずと十分話し合っやっていきたい。

問 合併処理浄化槽は、個別処理のため個人管理が大変だ。行政管理にできないか。

答 他の集落排水とやり方が違うので今やるとは言えないが、検討してみたい。

旧金山小学校の跡地利用は

問 福祉施設への転用を望む声強いが、市長の考えは。

答 昭和57年3月の建築で数年先になるまで転用できず、その時期までまっぴら。

地元要望書確約不履行の説明を

問 各自治会の要望事業に助役、企画部長、課長が署名押印をしているが、今も完成していない工事がある。地元住民に説明を。

答 約束したことは行政の責任であり、私が責任を持つ。落ちがあったと率直に申し上げる。放っておく

は遺憾な事、これを機会に地元と話し合って了解を得たいし、議員のお力添えもお願したい。

市役所職員のモラルについて

問 市同和教育子ども会の宿泊研修で、担当課長と職員が子ども前で飲酒を繰り返す、観光気分だと保護者から苦情が出ているが。

答 平成6年のことで、職員は真剣に取り組んでいたと思うが、きびし

日本共産市会議員団

介護保険への備えを

問 介護保険スタートにあたり、基盤整備は重要な課題。特に特別養護老人ホームは、10年度末で48人待機者があつたことから、特別養護老人ホームの増設が必要だが市長の考えは。

答 施設整備については、老健施設、療養型病床とあわせて考える。他市町の施設を含めれば、充足していると考えている。

問 これまでホームヘルパーにお世話になつてきた方の中で、介護保険制度では対応できない人への対策をすべきだが。

答 福祉を後退させないように心がけた。

いご意見をうかがい、直すべきところは直す。

いじめ根絶と生命を 尊重する心を

問 学校内で起きた問題について、学校や教育委員会は閉鎖的であるため、心の教育実践活動を「断る」と言う地域公民館があると聞くが、説明を。

答 今後理解を求めていきたい。

仲林 清貴
藤井 節子
足立 進

ゴミ問題の解決を

問 ゴミの収集で有料化の動きがあるが、不況の中で新たな負担増は大変。市民合意でゴミ減量化の取り組みが大切であり、市の具体的な方針は。

答 指定袋がどうしても必要であり、一定枚数までは無料で、それ以上は有料にすればという意見もある。極力市民合意を進めたい。

問 リサイクルプラザを障害者の就労の場として拡充すべきだが、また、商店街の空店舗にリサイクル工房を設置しては。

置しては。



▲ポンプ設置を要望する弘法川の捷水路

答 障害者の就労の場が望ましい。もう少し検討する時間がほしい。リサイクル施設は新焼却炉の近くで考えている。

冠水被害への対策について

問 今年6月・9月の冠水被害を繰り返さないために、弘法川に新たなポンプの設置を。また法川のポンプの増設は。さらに、当面、西川の浚渫（しゅんせつ）や、水を貯留する施設をつくることで被害をくい止めては。

答 弘法川の捷水路に新たなポンプを設置することを建設省に要望したい。法川の3台目のポンプは、国の補正予算で設置が決まった。駅南の開発公社所有の用地を活用して、一時的に水をためたい。西川の浚渫（しゅんせつ）をとりあえず早くする。

大型店出店への対応は

問 大型店さとうの出店も本格化している。市の基本的な考えを示すべき。また、市街地・商店街の振興策は。

答 成り行きを見守りたい。中心市街地や商店街振興は、優先的に考えている。

教育・子育て支援について

問 子どもをとりまく不登校や学級崩壊などの実態は。また、あるクラスでの学級崩壊に似かよったケースで、教育委員会や校長の担任配置における問題はないのか。

答 中学生の不登校は増加している。代替教員の配置は、急なこともあつてなかなか見つからなかった。

問 同和教育は、京都府も終結の方向。本市でも同和教育は終結し、一般施策の向上を。また、立場宣言はやめるべきだが。

答 京都府の動向を見守るが、施策の継続を求めていく。立場宣言は、自主性を尊重している。

問 校庭開放の施設は老朽化している。その改善と、学童保育への移行を。

答 現状のままではしばらく続けていきたい。施設の老朽化は検討課題。

農業支援・特産物育成策は

問 地域経済の立て直しのために、農業振興が重要。転作への支援とあわせて、特産物づくりへの支援を強化すべきだが。

公明党議員団

小野 喜年
今次 淳一

福知山城近辺の駐車場の整備は

問 観光専用駐車場への案内標識が街路樹等に隠れて見えにくい。大型バスの駐車場も狭すぎるが。

答 案内標識の不備については今後整備していく。将来的には旧職員の駐車場の活用を検討していきたい。

町名・住居表示について

問 市内の住所は登記簿・住民票・自治会等の関係で複雑になっており、配達業務・訪問者は苦勞をしている。自治会名を書き入れる運動と、住所と家族名を入れた表札を全戸配布する考えは。

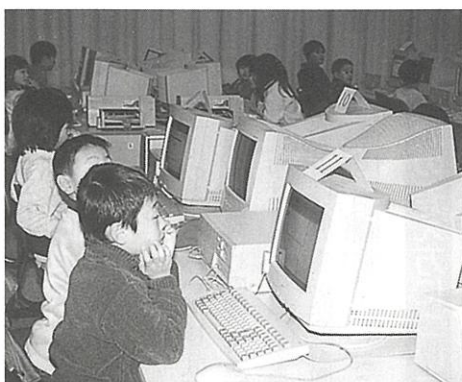
答 事務手続きが大変であり、住居表示はせず郵便番号の7桁で対応したい。

答 ウルグアイラウンドの約束でコメの生産調整はやっていかなければならぬ。「地産地消」は大切なことで、公設市場や日曜朝市など徹底してやっていきたい。

学校のパソコンの利用について

問 学校に設置してあるパソコンを緊急災害時の情報交換の手段として整備できないか。

答 平成12年度中にすべての学校でインターネットの接続が完了するが、情報手段の活用については市のシステムの中で検討していく。



▲学校に設置されているパソコン

家庭用生ゴミ処理機購入に補助

問 ゴミの有料化が実施されればコンポストの需要がさらに増すが、使えない地域のため、家庭用生ゴミ処理機にも購入補助をすべきでは。

答 電機生ゴミ処理機は割高で、5万〜8万円ぐらいかかる。コンポスト補助の一基3,000円とはケタが違う。よいことではあり、ご意見としてお聞きしておきたい。

買い物袋の全戸配布は

問 ゴミの減量化と資源節約のため、買い物専用の手提げ袋を全戸に配布する考えは。

答 買い物袋を大事に使ってもらおうのであればよいが、反対にゴミになつて出てくるのでは。これも一度検討

市民クラブ

芦田 廣
荒川 浩司

お城周辺、陵北町の浸水対策は

問 大雨による床上浸水等、多くの被害が発生したが、その対応策は。

答 お城周辺については、法川排水機場に3基目のポンプの設置と河川情報システムの導入を建設省として決定している。陵北町では調整池を開発公社の土地に設置したい。

をしてみたい。

学校給食用食器の安全対策は

問 学校給食の食器を環境ホルモンの心配のないものに替えるべきでは。また、給食センターを建て替える考えは。

答 メラミン食器の問題は危険であり、給食センターで一度検討し、研究をしてみたい。給食センターを建て替える考えはない。

少子化対策臨時特例交付金について

問 保育所に通う病後の子どもを、回復するまで一時的に預かる病後見保育施設を作る考えは。

答 開設には施設やスタッフなど課題が多く、実施は困難である。将来的な研究課題として。

下水処理場に気象情報システムの導入について

問 現状では降雨の一時前後の情報しか入らない。市民の命と財産を守る上で改善が必要だ。

答 雷雨を観測するシステムの導入を検討中である。

新焼却炉稼働の対応について

問 平成12年4月から新焼却炉が稼働するが、ビニル類やプラスチック類等、高温処理が可能な分別内容や可燃ゴミの種類が変更になるのか。

答 新焼却炉は現在試運転中で、紙オムツ、生理用品、木片ゴミ等は可燃物にしたい。割りばしやせんていぐズ、草等は45ℓ袋で3個までとした。ビニル類等は従来どおり不燃物として取り扱う。



▲稼働に向け、着々と進む燃焼テスト

緑の基本計画の対応について

問 市街地の緑が不足しているとして、都市計画区域内で一人当たり、

現状23㎡から15年後に44㎡にする計画があるが、その内容は。また、街路樹の植栽率や三段池公園の整備率及び宿泊棟の建設は。

答 公園計画の44㎡については、公園緑地整備や自然緑地の確保で達成できる。植栽率は3.5m以上の歩道で87%達成している。三段池公園は75%の整備率で宿泊棟は考えていない。

情報公開の考え方について

問 情報公開は、市民参加の「まちづくり」には欠かせない。条件次第で情報を公開しないこともできると聞くが、本市の現状と今後の考え方は。

答 庁内に検討委員会を設置し16名で検討中。懇話会の設置を予定し二年以内に条例と環境整備を行う。市民に広く公開するもので、市民オンブズマン等特定の方のみものとは考えていない。



福政会

自治会要望の扱いについて

問 全市的に緊急対応の必要がある要望とその処置は。

- | | |
|-------|--------|
| 片山 照雄 | 和泉 すす子 |
| 荒木 治清 | 菅田 弘夫 |
| 武田 光正 | 野田 勝康 |
| 大西 肇 | |



答 要望が出たからすぐに対応すると
言うのではなく、緊急度を考慮し
て対応している。

問 下水道のマンホール蓋等の調査点
検と維持管理は。

答 毎年計画的に調査点検を行い、
危険性があるものについては、速
やかに対応している。

長田野工業団地の周辺整備について

問 長田野工業団地への進入道路新設
と、野台地区の土地区画整理は。

答 過去に痛ましい事故も起こってお
り、何とか対策を考えなければな
らないが、野台地区の区画整理は市街化
調整区域であり、なかなか困難である。

防衛施設周辺整備事業について

問 駒場運動公園の拡張と天井川の改
修は。

答 市からも防衛庁に働きかけ、事業
の実現に努力する。

PF1推進法の活用について

問 PF1推進法を活用した文化会館
や、物流基幹基地等のインフラ整
備の可能性は。

答 市と民間のリスクの分散をどう振
り分けるかを検討する必要がある
。今後の成り行きを見守りたい。

有害鳥獣の駆除について

問 有害鳥獣による被害額と、駆除に
出した公金の額は。

答 平成10年度の被害額は1,380
万円。捕獲奨励金は251万円
を出しているが、もつと増やせばよい
と思っている。

教育問題について

問 心の教育の一環として多種多様な
取り組みがなされているが「一つ
釜の飯を食う」と言うような取り組み
が必要では。

答 全くそのとおりで「教える」と言
うような姿勢ではだめだと思っ
ている。

今年6月の水害教訓から

問 奥榎原地区は上流に府下最大の用
水池があり、山腹に用水路が走っ
ている。今年6月の大雨で用水路があ
ふれ、林地崩壊が起こり、家屋倒壊1
件と大量土石流入1件の被害となっ
た。今日、堤防も安全なもの過信で
きない。避難路の緊急改修を。奥榎原
深サ谷から、茅ノ台、JA上豊支店間
道路を命の綱と考えている。財政上、
一度に無理なら調査費だけでも考慮さ
れたい。

答 調査費をつけたら着手せざるを得
ない。財政上、今は堤防と余水
吐を監視することが大切と考える。

過疎遠隔地のバス運行について

問 過疎遠隔地、高齢者の交通手段対
策として下戸地区への延長乗り入
れ、法用への福祉バス運行は。

答 近畿陸運局が意見を集約中で、し
ばらく様子を見ていただきたい。

市民病院の運営について

問 市民病院の平成11年度決算資料に
上げられている特別利益の内訳
は。

答 市民病院の特別利益の1億5,9
77万7千円は、国から市への移
譲に伴う5年間に限った補助金であ
る。

新政会

行財政について

問 11年度財政運営の見通しは。

答 財政見通しは厳しいが、市税は
11月末現在65億8,445万円

問 国からの補助金の期限は。

答 平成12年度で打ち切りとなる。

問 来年度の決算予想は経常収支が1
億8千6百万円の赤字になると予
測しているが、補助金の打ち切り後の
病院運営は。

答 非常に厳しい現状だが、効率的な
運営を心がけたい。

問 このような財務内容にも関わら
ず、毎年新しい医療機器を導入し
ている。過去5年間の購入金の推移
は。

答 平成6年度から平成10年度まで
で、それぞれ3億5千万円、3
億7千万円、1億9千万円、1億2
千万円、1億円となる。耐用年数が5
年と短く、新しい医療機器を導入して
いかなければならない。

井上 重典	穂田 司正
森田 泰英	松本 良彦
田中 泰治	加藤 弘道
塩見 仁	田淵 弘

余で前年度対比若干増加している。固
定資産税は一定の伸びを示している
が、個人市民税は所得が厳しい状態
で伸びは期待できない。今年度は歳出を
抑制していくので、決算で歳出が残っ

でもご理解願いたい。公債比率は大型事業の償還により15%に近づきつつある。

問 12年度予算編成の方針は。

答 鉄道高架など相当の財政投資が出てくるので、健全財政を維持するため、経常費を今よりも5%枠を押し下げて編成したい。自治会からの要望もなかなか難しくなる。

問 国、府への要望事項は。

答 財源を確保するため、国道9号切り下げによる緑ヶ丘の用地売却など有利に展開させたい。

地域自主防災組織について

問 組織の拡充とその支援策は。

答 災害時には生命財産を守ることが第一と考える。多岐にわたるので、その場に応じて指導していきたい。初動時の装備支給は考えていない。万一事故があった場合は、公務災害の補償が準用される。

魅力ある消防団づくりについて

問 消防団の帽子をアポロキャップに。

答 値段が問題で一度にはできない。来年度予算編成時に検討したい。

介護保険について

問 国の見直し案に伴う本市の考えは。

答 実施までにもう少し時間があるので様子を見て対処していきたい。

問 介護に必要なサービス等の基盤整備の状況は。

答 施設利用者は474人と推計している。市内の施設は特養180床、老健施設162床、不足の場合他市町の施設利用も考えている。



▲介護認定審査の模様

島原市との文化交流について

問 島原市は来年、市制60周年の節目の年と美術展40回の記念展となるが、福知山市展との交流の考えは。

答 島原市との文化交流はいいことなので実現すればいいと思うが、どんな作品をもって行くかが難しい。市

展で賞を受けておられる作品をもって行くのが無難と考える。

「心の教育」の充実をめざして

問 「ゆとり教育」をめざす具体的な取り組みは。

答 知識重視の教育より社会、職場体験など週3時間の総合学習が効果的に使われるよう、教育・学習計画を立てねばならない。

問 「生きる力」を養う具体的な取り組みは。

答 スクールカウンセラー、心の教育相談員が相談に応じている。適応指導教室は場所が狭くなり、通つてくる距離が長くなるとか、教材を工夫することが課題である。

交通安全対策について

問 交差点での交通安全のため右折信号機の設置を。

答 特に必要な交差点として、ニシヤマ荒河店前の交差点を考えている。

市道改良について

問 市道の維持管理と未舗装道路の改良は。

答 多くの地元要望があるなか、10年度で新設改良14路線、部分改良

45路線、舗装7路線を実施した。維持管理についても緊急度を考えながら実施しているが、草刈は地元の協力をお願いしたい。

福知山市営球場について

問 福知山市営球場の3塁側トイレが暗いが改善を。

答 明るくなるように検討したい。

ゴミの減量化、再資源化について

問 ゴミステーションに新聞や雑誌が多く出ているが、別途収集できないか。福知山マラソンで出されたペットボトルの処分量は。

答 1キロ当たり5円の報償金も出している。廃品回収の方がありがたい。ペットボトルの処分量は約2万5千本、約15立方メートルであった。

市民病院の院外処方箋発行は

問 外来患者の薬剤の院外処方箋発行を進める考えは。

答 厚生省は奨励しているが、メリット・デメリットがあり、ただちに踏み切るのとは違うと思う。検討の余地はある。

常任委員会の審査報告

市民厚生委員会

平成11年度一般会計補正予算については、老人保護措置事業、在宅老人の介護者激励金支給事業並びに短期保護事業に要する老人福祉費、平成11年4月から9月までの間に住宅新築資金等貸付金の繰り上げ償還を受けた額のうち、起償償還分を京都府住宅新築資金等貸付事業管理組合へ負担する同和対策費、少子化対策の一層の普及促進を図るために行う少子化対策臨時特例事業費、生活保護受給者増のために要する

扶助費をそれぞれ補正した。また、国民健康保険事業特別会計補正予算、老人保健医療事業特別会計補正予算、病人事業会計補正予算は、いずれも給与改定等に伴う補正である。中丹伝染病隔離病舎組合の解散並びに解散に伴う財産処分については、平成12年3月31日をもって当組合が解散するため、地方自治法の規定により、議会の議決を要するものである。

以上、当委員会に付託された全議案は、全員賛成でいずれも原案どおり可決した。

一般会計・特別会計の予算補正を中心に審議

総務委員会

緊急雇用特別対策事業で
行政情報電子化事業を

本委員会に係る平成11年度補正予算案件は、給与改定に伴う人件費と恩給及び退職年金費であり、給与改定について、国と本市との差は、11年4月1日現在で一般行政職員の給料を改定前と改定後で比較すると平均で国が979円、本市が1,023円引上げになる。

57才昇給停止については、12年4月1日以降、現業職員を除いて昇給停止となる。

緊急雇用特別対策事業については、景気の回復が、実際の雇用に結びつく

までの間の「つなぎ」に1年半以内の経過的な仕事を各自自治体で作らだすもので、今回の情報電子化事業の事務量は、実人員5名の雇用を3カ月間、300人日の雇用を見込んでいます。

9月の集中豪雨災害による勤労青少年ホーム西側法面崩壊に伴う損害賠償と復旧工事後の安全について、倉庫等の全壊に対しては、京都府の用地対策連絡協議会の「損失補償標準算定書」により算出した。工事施行後の安全については、崩壊法面は、掘削なり植栽で復旧するとともに、雨水排水対策については、95mの水路を新たに築造し万全を期すとのことで全議案原案どおり可決した。

文教建設委員会

9月災害の早期復旧に努力

文教建設委員会に付託された議案第42号平成11年度福知山市一般会計補正予算及び福知山駅南・駅周辺・石原土地区画整理事業施行規程の一部を改正する条例の制定についての4議案と「教育予算の増額及び教育条件整備充実に関する請願」「福知山市立小・中学校の30人学級実現を求める意見書採択に関する請願」「福知山市立小・中学校における耳鼻科検診全年実施を求める請願」「動物園・科学館など市施設の義務教育児童・生徒の入場無料化を求める請願」を審査した。その概要は、9月の集中豪雨により発生した災

害で、市が管理する市道、河川33件、7,885万9千円の公共土木施設災害復旧費、その他公共施設災害復旧費850万円の補正で、いずれも緊急を要するものである。少子化対策臨時特例交付金事業は、市立幼稚園各クラスにビデオ内蔵テレビを、預かり保育にホームコたつを、校庭開放事業の4校に図書を購入と惺明小学校にエアコンを設置するなど教材備品の整備充実を図る。土地区画整理事業法の規程の一部改正は法の改正に伴うもので4議案とも全員賛成で原案可決、4請願は継続審査と決した。

経済委員会

緊急雇用特別対策事業の新設、
災害復旧の補正と請願を審査

当委員会に付託された議案は、平成11年度福知山市一般会計補正予算ほか5議案と請願1件を慎重に審査した。

一般会計補正予算は、国の緊急雇用対策に伴い、本市でも緊急雇用特別対策事業を新設し、雇用対策整備の一環として、商業関連で6月から施行される大店立地法に関連した大型店舗周辺交通環境等の調査事業を実施、工業関連では長田野工業団地立地企業から地元企業への下請け発注の向上と、高度技術・技能を保有する工業団地立地企業や地元企業退職者等の再雇用と活用促

進に資する人材リスト作成事業である。

また、6月・9月の集中豪雨災害に伴う災害復旧事業に係る歳入歳出は、6月災害で被害を受けた中で、林地崩壊防止事業の補助採択とならないものに対する本市独自の事業で、自治会への復旧補助を行なう9カ所分。農林施設等災害復旧事業及び林地災害復旧事業は、9月災害の農地18件、農業用施設22件、林道1件分の補正。

他議案とも慎重審議の結果、全議案、全員賛成で可決した。

「米の豊作時における主食用以外に処理する場合の政府助成を求める請願」も重要なことであり、審議の結果、全員賛成で採択した。

議会
日誌

《11月》

〔11月～1月〕

- 1日 決算審査特別委員会
- 2日 議会運営委員会
- 4日 決算審査特別委員会
各派幹事会
- 5日 決算審査特別委員会
議会運営委員会
- 10日 長崎県長与町議会視察来市
臨時市議会本会議
- 11日 常任委員会（経済・文教建
設）
- 12日 臨時市議会本会議
各派幹事会、議会運営委員会
- 15日 京都府亀岡市議会視察来市

《12月》

- 2日 定例会開会（決算審査特別委
員会委員長報告・採決、提
案理由の説明）、各派幹事会、
議会運営委員会
- 10日 本会議（議案質疑、一般質問）
- 13日 本会議（一般質問）
- 14日 本会議（一般質問）、各派
- 16日 全国市議会議長会評議員会
（東京）
- 18日 新潟県新津市議会視察来市
全国市議会議長会基地協議
会理事會（東京）
- 19日 福島県いわき市議会視察来市
全国鉄道整備促進協議会全
国大会（東京）
- 24日 議会運営委員会
- 30日 一市三町議会議員研修会
（夜久野町）

《1月》

- 22日 本会議（委員長報告・採決）、
全議員協議会、議会だより
編集委員会
- 24日 会期
- 24日 幹事会、議会運営委員会
各常任委員会
- 25日 本会議（委員長報告・採決）、
全議員協議会、議会だより
編集委員会
- 26日 京都府市議会議長会事務局
長会（京都市）
- 27日 議会運営委員会
- 27日 近畿市議会議長会理事會
（綾部市）
- 27日 静岡県伊東市議会視察来市
滋賀県石部町議会視察来市
（大阪）

請願（12月定例会上程分）

【採択したもの】

◆米の豊作時における主食用以外に処理する場合の政府助成を求める請願（請願者：福知山市農業協同組合 代表理事組合長 河波瀬雄氏）

【継続審査となったもの】

◆教育予算の増額および教育条件の整備充実に関する請願
◆福知山市立小・中学校の30人学級実現を求める意見書採択に関する請願
◆福知山市立小・中学校における耳鼻科検診の全学年実施を求める請願
◆動物園・科学館など市施設の義務教育児童・生徒の入場無料化を求める請願
（以上4件 請願者：子どもと教育・文化を守る福天府民会議 代表 友次 義氏、福知山市教職員組合 代表 大槻 博氏）

意見書

- 米の豊作時における主食用以外に処理する場合の政府助成増額を求める意見書
- 道路整備予算の確保に関する意見書

以上2件の意見書を可決し、国・関係機関へ提出した。

編集後記

昨年のいつせい地方選挙以降、議会では市民に開かれた議会運営をめざすなど「議会改革」をすすめてきました。

その内容は、本会議での質問を増やすために、代表質問と一般質問を明確に区分けして、時間配分を変更しました。その結果、この12月議会では、従来より多い16人の議員が、市民の声を市政に反映させようと、本会議で登壇しました。他にも、海外行政視察を当面中止することや、他市からの視察の際の昼食費用は公費支出しないこと、また、議会だよりの編集内容も改善してきたところです。今後、議会の情報公開などについて、具体的な検討を行う予定です。

21世紀まであと1年をきり、議会の役割も非常に大切になってきます。議会の様子を市民のみなさんに、より一層ご理解いただけるよう、議会だよりの編集に努力をいたします。